



2024年5月10日

各 位

会 社 名 電気興業株式会社  
代表者名 代表取締役社長 近藤 忠登史  
(コード番号 6706 東証プライム市場)  
問合せ先 取締役常務執行役員 浅井 貴史  
(TEL. 03 - 3216 - 1671 )

### 2024年3月期 通期連結業績予想値と実績値との差異及び 通期個別業績と前期実績との差異に関するお知らせ

2023年11月10日に公表しました2024年3月期(2023年4月1日~2024年3月31日)の通期連結業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたのでお知らせいたします。

また、2024年3月期の通期個別業績につきまして、前期実績値との間に差異が生じたのでお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 通期連結業績予想値と実績値との差異について

##### (1) 2024年3月期通期連結業績予想値と実績値との差異(2023年4月1日~2024年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 30,500	百万円 △ 1,500	百万円 △ 1,300	百万円 △ 1,100	円 銭 △ 108.29
実績値(B)	28,864	△ 1,787	△ 1,537	△ 1,977	△ 198.93
増減額(B-A)	△ 1,635	△ 287	△ 237	△ 877	—
増減率(%)	△ 5.4	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (2023年3月期)	31,817	△ 1,510	△ 1,219	△ 1,181	△ 107.75

##### (2) 差異の理由

売上高は、第2四半期時点の見直しから、電気通信関連事業及び高周波関連事業のセグメントにおいて、需要の停滞、先送り、失注や期ずれなどの要因が重なり減収となりました。また、営業利益及び経常利益につきましては、原価低減や経費削減を継続して取り組んだものの減収の影響により前回予想に比べ減益となりました。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、投資有価証券売却益を計上したものの、固定資産の減損損失等を認識したことにより、前回予想に比べ損失が増加いたしました。

2. 通期個別業績と前期実績値との差異について

(1) 2024年3月期通期個別業績と前期実績値との差異 (2023年4月1日～2024年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績値 (A)	百万円 25,254	百万円 △ 1,171	百万円 △ 452	百万円 △ 277	円 銭 △ 25.32
当期実績値 (B)	20,667	△ 1,934	△ 1,429	956	96.22
増減額 (B - A)	△ 4,586	△ 762	△ 976	1,234	—
増減率 (%)	△ 18.2	—	—	—	—

(2) 差異の理由

通期の業績につきましては、売上高は、主に電気通信関連事業における移動通信関連分野において、顧客の設備投資計画の見直しによる需要の停滞及び先送りが継続していること、そのほかに固定無線・放送の各関連分野においては、入札案件を含めた各種工事の失注や期ずれなどが重なったこと、高周波関連事業においては期ずれの影響が大きく、前期実績を下回る結果となりました。また、営業利益、経常利益につきましては、生産性の改善などに努めてまいりましたが、減収の影響が大きくそれぞれ前期実績を下回る結果となりました。

なお、当期純利益につきましては、投資有価証券売却益及び2023年4月1日の100%子会社の吸収合併に伴い抱合せ株式消滅差益を特別利益として計上したことにより、関係会社株式評価損、固定資産の減損損失等の特別損失を認識したものの、前回実績を上回る結果となりました。

なお、抱合せ株式消滅差益、関係会社株式評価損は、連結決算において消去されるため、連結業績への影響はございません。

以 上